

令和3年6月9日(水) 校内研究 話題提供授業と協議

4年生 体育科



4年生は体育の学習で、体づくり運動「多様な動きをつくる運動(フープの操作)」の授業をしました。補助運動の「じゃんけんすごろく」で心と体のスイッチを入れると、前半の「やってみようタイム」で「ころがす」「回す」「とぶ」「投げる」の4つのコーナーに分かれ、フープを使った運動を楽しみながら場や用具の使い方を確認しました。後半の「チャレンジタイム」では、前の時間に決めた各自の課題を確認すると、自分の課題に合わせてコーナーを選び、運動に取り組みました。課題を解決できると帽子を白から赤に変えることができるので、どうしたらうまくできるようになるのか考えながら夢中になって運動していました。「上手にできるためのコツを見付けてみましょう。」という先生の言葉を受け、「フープを持って勢いをつけると足で回すことができるよ!」や「投げた瞬間に上から下へ素早く手をおろすとフープが戻ってくるよ!」と子供たちなりにコツを見付け、上手くできない友達にも伝える姿が見られました。

今年度一回目の協議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、各教室に分散して協議会を実施しました。その後、国土舘大学の細越淳二教授より、本日の授業の成果や課題、また教師が事前に実技しておくことの大切さや明確な基準を設ける方法、(密を避けた)集団での運動と個人での運動を組み合わせた指導法について御指導いただきました。今日の学びを明日からの体育の授業に生かしていきたいと思ひます。